

## 12月の窓

二十四節気では、11月22日が小雪、12月7日が大雪となり、雪国山形でも本格的に雪が降り始める季節となります。子どもの頃は、雪遊びも冬の楽しみの一つで、雪を待ち望んだものでした。大人になってからは、通勤のことなどを考えると「あまり降ってほしくない」と思うことが多くなりました。本来夏は暑く、冬は寒いものなのですから、単に大人のわがままなのかもしれません。

詩人丸山薫の「北の春」や「白い自由画」などからは、春の持つやさしさやあたたかさが伝わってきますが、中には冬の厳しさを詠んだ詩もあります。ここでは「綴り方」という詩を紹介します。

雪は子供達から  
太陽をとりあげた  
雪は子供達から  
遊び場をとりあげた  
雪は子供達から  
山や岩や木や草の色と形を  
とりあげた  
雪は子供達から  
小鳥の歌をとりあげた

光もなく 音もなく 色もない  
ただ 灰色に<sup>モノトーン</sup>単調な一年の半ばを  
いったい 子供達はなににして暮すのだろう

私は教室で綴方を書かせるが  
どの子供も短い鉛筆の芯を舐め舐め  
朝起きたこと  
夜寝たこと  
御飯を喰べたこと  
ただ それだけを丹念にしるす

これらの哀しい白紙のような一枚一枚から  
風に捲かれた山の粉雪が舞い立って

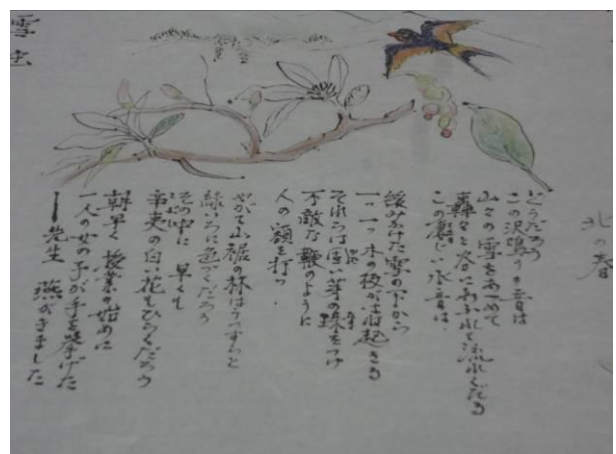
## はげしく 私の額を打つように思うのだ

丸山薫は明治32年大分市生まれの詩人ですが、昭和20年4月、山形県西川町の岩根沢に疎開し、岩根沢国民学校（その後の岩根沢小学校＝平成18年度をもって休校となる）で23年7月まで、代用教員として教鞭をとりました。その間、多くの詩を書き、教科書にも掲載されているものもあるので、先ほどの「北の春」や「白い自由画」などを読んだことのある方も多いと思います。旧岩根沢小学校の近くにある「丸山薫記念館」では、丸山に関する資料を多数展示しています。私も以前何度か行ったことがあります。冬期間は閉館となるため、紅葉の時期に久しぶりに行ってきました。

最初の写真は、記念館前にある「岩根沢地区の案内掲示板」で、次の写真が記念館です。



以前来たことがあると言っても、新たに発見したようなものもいくつかありました。次の写真は、北原政吉という詩人が丸山の詩に絵をそえて絵巻物にし、寄贈されたものです。その隣の写真は「北の春」です。展示されているのは限られた詩でしたが、この絵巻物にはかなりの詩が収められているようです。



次の写真のオルガンは何なのかと見ていると、隣の写真の説明がありました。それによると、このオルガンは鶴部分校にあったオルガンとのことでした。丸山はこ

の分校にも行ったことがあり、その時のことを「鶴部」という詩に詠んでいます。その詩によると、鶴部地区は岩根沢からさらに尾根一つ越えたところにあり、そこからは山形市の灯も見えるとありました。



10月から11月にかけて、運動部の県新人大会や、文化部の各種大会が開催されましたので、一部紹介します。

団体種目では、山岳部女子が第2位相当の優秀賞を受賞し、フェンシング部の男子と女子が2位となりました。また、男子テニス、ソフトテニス、ハンドボールが3位となり、山岳部男子も3位相当の優良賞を受賞しました。個人種目では、フェンシング男子の2年生がフルーレ、エペ、サーブル3種目で優勝し、部活動以外の種目でも、体操競技で本校1年生が個人総合第1位となり、なぎなたでも本校2年生が女子個人試合で1位という成績でした。

文化部関係では、放送委員会が参加した山形県高校放送コンテスト新人大会のテレビキャンペーン部門で1位となり、新聞部は山形県高校新聞コンクールで優秀賞を受賞しました。また、牛乳・乳製品利用料理コンクール山形県大会に出場した2年生が、2位に相当する優秀賞を受賞しました。この大会は、山形県牛乳普及協会が牛乳・乳製品の消費拡大をはかるために行っているもので、今年で35回目になります。牛乳や乳製品を使用したオリジナルの料理・菓子・デザート作品を作るもので、書類審査を通過した人による実演審査が11月上旬に行われました。応募資格は「高校生以上の個人（ただし、現職の調理師などプロの方は除く）」となっているので、一般の方や調理を専門に学ぶ生徒も多く応募する中で、本校家庭科部の2年生の作品が2位となったものです。料理名は「ミルク麻婆豆腐 in サマー」というもので、夏野菜に牛乳を加えた夏向けの麻婆豆腐とのことでした。

最後に、今月は山形県護国神社を紹介します。護国神社は、先月紹介した山形工

業高校のすぐ北にあり、道路を挟んだ東側には馬見ヶ崎川が流れています。西隣には、薬師公園や国分寺薬師堂もあり、本校からは歩いて10分ほどの距離になります。護国神社は、明治2年現在の山形市八日町に創立され、明治22年には宮町に遷座し、昭和9年に現在地に新社殿が造られました。昭和14年に山形県護国神社と改称し、平成6年に拝殿が改築されました。新年の初もうで参拝客は、例年山形県内で最も多く、約13万人もの参拝があるそうです。

最初の写真は、大鳥居から奥の拝殿を見たところで、鳥居の手前の左右には大きな狛犬がいます。次の写真が狛犬の一つで、11月下旬に行ったので大きな七五三の案内板もありました。



次の写真が拝殿です。拝殿の少し手前には、右の写真のような大きな絵馬が飾られていました。護国神社は本校のすぐ近くにあるのでその前を通ることはよくありますが、中に入ったのは20年ぶりくらいになります。このような絵馬があるのも知りませんでした。大きな馬が描かれているのは今年が午年だからだと思いますが、その次に「平成甲午年」とあるのが見えるでしょうか。今年が甲午（きのえうま）で来年は乙未（きのとひつじ）ですから、来年は羊の描かれた絵馬に代わるのでしょう。皆様にとって、来年がいい1年となるようお祈り申し上げます。

